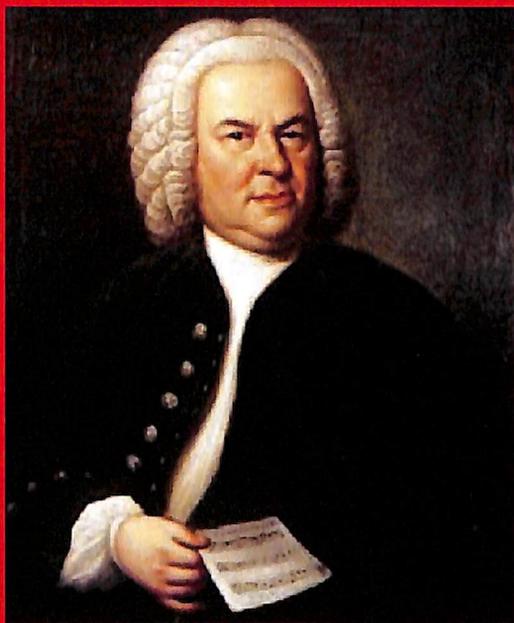


コンチェルティーノ ・ディ・キョウト

第59回
定期演奏会

～ 色々なバッハに出会う ～



2017 **11.19** (日)
14:00 開演 (13:30 開場)
京都コンサートホール (小)

主 催 スズキメソード京都

ヨハン・セバスチャン・バッハ
Johann Sebastian Bach (1685 - 1750)

フーガ (レグレンツィの主題による) 八短調 BWV574
Fugue on a theme by Legrenzi in C BWV 574
(弦楽合奏版 - 江村孝哉編)

ヴァイオリン協奏曲 二短調 BWV1052R (江村孝哉編)
Violin Concerto in d BWV1052R

ヴァイオリン / 田崎 祐成
Violin / Yusei Tasaki

オーボエ・ダモーレ協奏曲 イ長調 BWV1055R
Oboe d'amore Concerto in A BWV1055R

オーボエ・ダモーレ / 中山 房子
Oboe d'amore / Fusako Nakayana

.....

ゴルドベルク変奏曲 ト長調 BWV988 (弦楽合奏版 - 植村勉編)
Goldberg Variations in G BWV988

中山 房子 (オーボエ・ダモーレ)



同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻卒業。同志社女子大学音楽学会《頌啓会》特別専修生修了。ドイツ国立マンハイム音楽・芸術大学ディプロムコース(学士課程)を卒業しディプロムを取得。ドイツ国立ヴェルツブルグ音楽大学大学院にて研鑽を積む。ドイツバーデンバーデンフィルハーモニーの常任アシスタントを務める。2007年に帰国。これまでにザ・シンフォニーホールにて大阪朝日新聞社主催「朝日推薦演奏会」、いずみホールにて「いずみホールスプリングコンサート」、2007年4月に姉和子との初のデュオリサイタル「中山和子・房子デュオリサイタル」を行う。2008年1月にはNHK-FM「名曲リサイタル」に出演する。オーボエを清水明、故岩崎勇、インゴ・ゴリツキ、新井伸久、ヨッヘン・ミュラー・プリンケン、室内楽を岩崎勇、パウル・ダン(ピアニスト)、ウーリッヒ・フロインド(ファゴット奏者)の各氏に師事。現在は中山和子・房子「ピアノ・オーボエデュオ」、アンサンブル「NIKO ニコ」その他室内楽・オーケストラなどのフリーランスとして活動中。ドルチェミュージックアカデミー講師、奈良県立高円高校オーボエ講師。

曲目紹介

フーガ (レグレンツィの主題による) 八短調 BWV574
(弦楽合奏版 - 江村孝哉編)

ジョヴァンニ・レグレンツィ(1626~1690)はイタリア・バロック音楽の作曲家・オルガニスト。17世紀のヴェネツィアで最も有名な作曲家のひとりで、北イタリアの後期バロックの発展に極めて影響力があった。このフーガの初期稿に「レグレンツィのテーマによる」と書かれているが、残念ながらいまだに発見されていない。オペラやオラトリオをはじめ多数のカンタータや合奏曲が残されているらしいが、楽譜や録音は少なく今日耳にできる作品はごくわずかである。

フーガは先行するパートの冒頭に示された特定の旋律=主題のみを後続するパートが模倣し、そののち主題が自由な旋律をはさみながら曲中にたびたび示される様式で、似たような型式のカノンでは先行するパートの旋律を後続するパートがすべて模倣する様式。そしてカノンでは先行パートと後続パートの音程差に決まりはないが、フーガでは先行パートの主題を後続パートが原則5度上ないし4度下で模倣することが多い。

ヴァイオリン協奏曲 二短調 BWV1052R (江村孝哉編)

チェンバロ協奏曲第1番の原曲がヴァイオリン協奏曲二短調。第1楽章、第2楽章はカンタータ第146番「われら多くの苦難を経て」に、第3楽章はカンタータ第188番「われはわが信頼を」の序曲に転用されている。

1729年から1739年の間に作曲されたと推定されている多数のチェンバロ協奏曲のうちバッハが最初からチェンバロのために作曲したと確証があるものは全部で5曲しかなく、自身の旧作、あるいは他の作曲家たちの作品を改作(または編曲)したものであると考えられている。それらの原曲は大半が消失し全てが残っているわけではないが、今日では復元作業が進んでおり「オリジナル版」として演奏が行われている。

オーボエ・ダモーレ協奏曲 イ短調 BWV1055R

オーボエ・ダモーレは1720年ごろに発明されたオーボエの類似楽器で、音域は通常のオーボエよりやや低くまるやかな音色を特徴とする。ふつうのオーボエよりもやや大きく、イングリッシュホルンよりは小さく、ほぼ中間の音域を持つ。管楽器に理解ある方のために補足すると、オーボエ/オーボエ・ダモーレ/イングリッシュホルンはそれぞれC管/A管/F管となる。バッハは発明されたばかりのこの楽器を好み、自作品にしばしば用いた。BWV1052と同様に、チェンバロ協奏曲第4番から復元されたものがこのオーボエ・ダモーレ協奏曲であると推定されている。

ゴールドベルク変奏曲 ト長調 BWV988 (弦楽合奏版-植村勉編)

「ゴールドベルク変奏曲」というのは後世の通称で、初版楽譜では「二段鍵盤付チェンバロのための、アリアと種々の変奏からなるクラヴィーア練習曲」と題されている。これほどの大曲を「練習曲」と呼ぶのは意外にも思えるが、バッハはライプツィヒ時代に出版された鍵盤楽曲に対して、一貫してこの名称を使った。「パルティータ集」(1731)は「クラヴィーア練習曲集」の第1部、「イタリア協奏曲」と「フランス風序曲」(1735)はその第2部、「ドイツ・オルガン・ミサ」と通称されるオルガン曲集(1739)はその第3部と呼ばれている。その第4部となるべく出版されたのが、「ゴールドベルク変奏曲」(1741)である。バッハから音楽の手ほどきを受けていたゴールドベルクが、不眠症に悩むカイザーリンク伯爵のためにこの曲を演奏したという逸話から「ゴールドベルク変奏曲」の名が付けられている。

二番目の妻に贈られた「アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帳」に含まれている典雅なフランス風サラバンドを基にした32小節のアリアを最初と最後に配し、その間にアリアの低音主題に基づく30の変奏が展開され全部で32曲として構成されている。第15、21、25変奏がト短調で他はト長調。3の倍数の変奏はカノンで、第3変奏の同度のカノンから第6の2度、第9の3度と一度ずつ広がっていった第27変奏で9度のカノンとなるが、第30変奏では10度のカノンではなくではなく「クオドリベット」という、民謡を二曲取り入れて混ぜたものが配置されている。

コンチェルティーノ・ディ・キョウト

スズキメソード京都の才能教育課程を卒業した上級生による弦楽合奏団で、昭和34年に設立され、以来演奏会は59回を数える。この間、フェリックス・アーヨやモーリス・ジャンドロン、ルイ・モイーズといった世界的な巨匠とも数多くの共演があります。

Cond	江村 孝哉			
Vn	田崎 祐成	林田 菜月	吉村 真綾	西辻 友結
	市川 雄一	吉村 花	廣瀬真優子	
Vla	高岡 舞	江村美由紀	佐々木めぐみ	
Vc	和田瑛怜奈	木幡真理子	木幡美智子	
Cb	吉平 大作			
Cemb	永田 悦子			

ごあいさつ

指揮 江村 孝哉

本日はご多忙中のところ、コンチェルティノー・ディ・キョウト第59回演奏会にお越しいただき、ありがとうございます。

今回は「色んなバッハに出会う」と題して、前半には毎年取り組んでいますフーガ、チェンバロ協奏曲第1番の原曲とされるヴァイオリン協奏曲、チェンバロ協奏曲第4番の原曲とされるオーボエ・ダモアレ協奏曲を、第57回演奏会に続いて、中山房子さんをお迎えして演奏します。後半には、ゴールドベルク変奏曲を、ふとしたきっかけで知り合った、元名古屋フィルのチェリスト、植村勉氏編曲による弦楽合奏版で演奏します。メンバー一同、皆さんが色んなバッハに出会ってくださることを願っています。

末筆になりますが、私たちは4年前に、この合奏団の創立者、新井覚先生を失いました。今年の4月には、第1回から昨年の演奏会までともに演奏くださっていた、仲佐悦子先生が帰らぬ人となりました。仲佐先生は昨年の演奏会に、体調が優れなかったにも関わらず、ご出演下さいました。そのお気持ちにも応えるべく、来るべき創立60周年に向けて、先生方のご遺志を伝えていきたいと思っています。

『Gute Nacht』

植村 勉 名古屋フィルハーモニー交響楽団・元チェロ奏者

本日は演奏会に御運びいただきまして、ありがとうございます。

バッハの有名なゴールドベルク変奏曲の弦楽版が様々ある中で、作曲は専門ではない僕の編曲を選んで頂いて光栄に存じます。ちゃっかりと対位法の勉強もさせて頂きましたが、ゴールドベルクさんの不眠症改善の為に依頼された事が脳裏を離れず、その情緒感を意識しながらでした。激しい動きの楽章においてさえ、バッハの表現には慈しみや恩愛が満ちていると感じましたね。ところで、1930年頃アメリカは大恐慌から抜け出す為にケインズの提唱を受け、巨額のお金をかけて各州にオーケストラとホール設置を進めました。人々の内面を温め勇気や元気を出させ、経済活動を活発にしようと考えたのです。近年、ベネズエラでは麻薬による社会の衰退に悩み、その解決のためにエルシスティマと云われる公立学校でのオーケストラ教育を始めました。オーケストラ演奏には自分の主張と他への協調を上手くコントロールする脳が必要です。これを育てて差別や精神的孤立を救い、効果をあげています。また、音楽療法の効用も既に認知されていますね。動物や植物に至っても、そこで音楽を流すと生育が良いと報告されています。

このように、最も普遍的な芸術といわれる音楽は人の心や社会の在り方に想像以上の良い効果をもたらす事が立証されつつあります。きっと、ゴールドベルクさんの友人はこの音楽で眠れるようになった事でしょう。一時間に及ぶ演奏時間です。飽きないように編成を工夫しておりますが、眠くなりましたら静かにおやすみくださいませ(笑)。

スズキメソード京都